

平成28年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
桃太郎チャレンジキャンプ

## 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

小学校中学年の子供たちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動を通して、基本的な生活習慣を身に付け、自ら進んでチャレンジしようとする心情を育む。

## 2. 事業の概要

### （1）期日

1st ステージ 平成28年8月24日(水)～27日(土) 3泊4日

2nd ステージ 平成28年9月17日(土)～19日(月) 2泊3日

### （2）参加者

#### ① 募集対象・人数

参加対象 小学校3・4年生 24人（応募総数29人）

#### ② 参加人数

1st ステージ 23人

2nd ステージ 21人

### （3）講師等

1st ステージ ボランティア13人

2nd ステージ ボランティア11人

### （4）企画・運営のポイント

- ① 平成29年度の長期自然体験活動を見通して、これまで1泊2日を2回実施していた本事業を3泊4日と2泊3日の5泊7日で実施した。参加者及びボランティアについてはどちらの期間も参加できることを条件に募集を行った。
- ② ボランティア対象の事前研修をステージ毎に実施した。研修内容は、実地踏査とリスクマネジメント、チームビルディングを中心に構成した。
- ③ プログラムはストーリーを持たせ、段階を追って取り組む困難克服型とした。1stステージでは、ロングウォークを、2ndステージでは大山登山をメインとして構成した。

また、子供たちへの行動イメージ通して次の3点を挙げてプログラムを構成し個々の振り返りにも活用した。更に班の振り返りでは班旗をビーイングとして活用した。

○吉備での様々な体験活動を通して、チャレンジ精神を養う。

○身の回りのことは自分でできるようにする。

○仲間と協力することの大切さや仲間の良さに気付く。

- ④ グループ編成は、6人×4グループとし、班付リーダーを2人とした。
- ⑤ 1st ステージから2nd ステージへ子供たちのモチベーションをつなげることと次へのステップに意欲を喚起させるために、ボランティアからのメッセージビ

デオを作成し配布した。

- ⑥ 県外の青少年教育施設との連携を図り、本事業の目的を達成するプログラムを構成した。また、ロングウォーク及び登山時のリスク管理を行うために登山ガイド及び救命救急士、看護師をスタッフに加えて連携を図った。

実際に、ロングウォーク時に看護師を1人、大山登山時に登山ガイドを2人、救命救急士を2人、看護師を1人配置した。

- ⑦ 保護者に対しては、フェイスブックを通して活動の様子を伝えた。また、ステージ毎の解散前に、班付リーダーから各保護者へ子供の活躍や成長した点を報告する時間を設けた。

- ⑧ 本事業をボランティアの研修機会を通して位置づけ、ボランティアの企画力向上につながるようにプログラム構成を行った。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
8/24 (水)			受付	開 会 式	仲間づくり ゲームⅠ	昼食	仲間づくり ゲームⅡ	常設テントでの就寝 準備				野外炊事			シャワー	振り 返り	就寝
8/25 (木)	起床 清掃 朝のつどい	移動	朝食(弁 当)	吉備津神社から砂川公園までフットロングウォーク (14km) 昼食(弁当)					移動	夕食	シャワー	振り 返り					就寝
8/26 (金)	起床 清掃 朝のつどい	朝食	移動	鬼ノ城アタック(3km) 昼食(弁当)					移動	夕食	シャワー	振り 返り					就寝
8/27 (土)	起床 清掃 朝のつどい	朝食	片づけ 準備	2ndステージ に向けて	また会 おうの 会	解散											
9/17 (土)			受付	久しぶ りの会	移動 (吉備→大山青年の家) 昼食(弁当)	オリエンテー ションと就寝準 備			野外炊事			登山に向けて 作戦会議			入浴		就寝
9/18 (日)	起床 片づけ 朝食	大山登山(標高1709m) 昼食(弁当) 途中荒天のため、6合目で折り返し								移動 (大山→吉備)	夕食	入浴	振り 返り				就寝
9/19 (月)	起床 清掃 朝のつどい	朝食	移動 準備	クラフト	振り 返り	閉 会 式											

※9/17の活動及び9/18の朝の活動は鳥取県立大山青年の家で実施

#### (2) 活動の状況



【仲間づくりゲーム】



【野外炊事】



【フォトロングウォーク】



【鬼ノ城アタック】



【振り返り】



【また会おうの会】



【大山青年の家での野外炊事】



【大山登山】



【焼き板】



【保護者への報告】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

1st ステージ 満足：96% やや満足：4%

2nd ステージ 満足：86% やや満足：14%

##### (2) 参加児童の声

###### ① 1st ステージ

ア. 3泊4日は初めてだった。いろんなことができてよかった。友達ができよかった。14kmも歩いたのは初めてだった。鬼ノ城に登ったのは初めてだった。すごくたのしかった。

イ. 鬼ノ城にのぼったのが一番楽しかった。

ウ. 野外炊事で料理をしたことが楽しかった。

エ. ふだん出来ないことができたのでよかった。

オ. 大切なことをたくさん学べた。

###### ② 2nd ステージ

ア. 大山をのぼるのはきつかった。疲れた。

イ. 野外炊事でお料理をしたのが楽しかった。

ウ. 約束をしっかり守るなどみんなのことを考えるキャンプだった。

エ. 大山に登れなくてかなしい。

オ. 6合目までしか登れなかったけど、大山に登れてよかった。

##### (3) 成果

① 各ステージの活動を班ごとに力を合わせ、やり切ろうとする姿が見られた。日がたつにつれ、班内で問題も起きたが、その都度、自分たちで解決しようとする姿も見られた。

② 各ステージのリスクを考え、看護師及び登山ガイド、救命救急士をスタッフに加えて連携を図ったことで、安心して実施することができた。更に、大山登山での悪天候による途中下山も登山ガイドの情報収集により、迅速に判断することができた。

③ ボランティアの事前研修（第2回）が台風接近により大山への実地踏査ができず、ボランティアのチームビルディングの手法を活用した研修に変更した。2ndステージを迎える上でのチームとしてのつながりを深めることができた。

④ 県外の青少年教育施設に宿泊し、野外炊事等を行うことにより、当施設以外の指導方法も学ぶことができ、職員として参考になった。

##### (4) 今後の課題

① 次年度は、1週間の長期自然体験活動を実施する。年度内に企画し、次年度始まってスムーズに準備及び実施ができるように進める。

② 1週間のキャンプに参加可能なボランティアの確保に努める。

③ ボランティアの事前研修をチームビルディングと実地踏査を中心にした研修内容で実施する。

担当：企画指導専門職 大下 展弘